

Mizuho Daily Market Report

2024/11/1

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	152.26	152.03	▲1.39	+0.20
EUR	1.0858	1.0884	+0.0028	+0.0056
AUD	0.6576	0.6582	+0.0010	▲0.0058
SGD	1.3217	1.3198	▲0.0025	+0.0017
CNY	7.1197	7.1180	+0.0019	▲0.0019
MYR	4.3781	4.3780	+0.0000	+0.0298
THB	33.71	33.74	+0.03	+0.07
IDR	15702	15697	▲3	+113
PHP	58.12	58.12	▲0.12	+0.26
INR	84.09	84.08	▲0.00	+0.01
VND	25278	25280	▲15	▲118

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.284%	▲1.6 bp	+7.3 bp
日本(10年)	0.952%	▲1.2 bp	▲1.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.390%	+0.2 bp	+12.4 bp
オーストラリア(5年)	4.122%	+5.2 bp	+8.1 bp
シンガポール(5年)	2.674%	+0.0 bp	▲1.8 bp
中国(5年)	1.820%	▲1.9 bp	▲3.3 bp
マレーシア(5年)	3.653%	+0.0 bp	+2.6 bp
タイ(5年)	2.193%	▲2.0 bp	▲3.0 bp
インドネシア(5年)	6.679%	▲2.2 bp	+10.4 bp
フィリピン(5年)	5.666%	▲4.7 bp	▲3.6 bp
インド(5年)	6.782%	+3.2 bp	+3.6 bp
ベトナム(5年)	2.010%	+0.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	41,763.46	▲0.9%	▲1.4%
N225(日本)	39,081.25	▲0.5%	+2.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,827.63	▲1.2%	▲2.2%
ASX(オーストラリア)	4,431.83	▲0.7%	▲1.9%
FTSEI(シンガポール)	3,558.88	+0.0%	▲1.3%
SSEC(中国)	3,279.82	+0.4%	▲0.0%
SENSEX(インド)	79,389.06	▲0.7%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	7,574.02	+0.1%	▲1.8%
KLSE(マレーシア)	1,601.88	+0.0%	▲1.9%
PSE(フィリピン)	7,142.96	▲1.9%	▲1.9%
SETI(タイ)	1,466.04	+1.3%	+0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,264.48	+0.5%	+0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.86	▲0.1%	▲0.9%
金	2,743.97	▲1.6%	+0.3%
原油(WTI)	69.26	+0.9%	▲1.3%
銅	9,373.55	▲0.3%	+0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	151.60	—	153.80
EUR/USD	1.0740	—	1.0930
AUD/USD	0.6485	—	0.6780
USD/SGD	1.3060	—	1.3330
USD/CNY	7.1160	—	7.1590
USD/INR	4.3200	—	4.3830
USD/THB	33.30	—	34.05
USD/IDR	15550	—	15850
USD/PHP	58.20	—	58.60
USD/VND	83.30	—	84.40
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は153円台前半でオープン。月末日における実需勢のドル買いワロもあってか、東京仲値にかけてはドル買い優勢の展開。その後、日銀は金融政策決定会合において政策金利の維持を決定。一時153円台前半まで急伸するもすぐに反落するなど売りが交錯した。その後は植田総裁の会見を控え、持ち高調整とみられる売りに押され上値重く推移し153円台割れ。結局、152円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は方向感に乏しい推移。アジア時間序盤から中盤にかけては全般的なドル買いの流れを受けアジア通貨は弱含むも、終盤にかけてはドル買いが一服しアジア通貨も動意に乏しい推移となった。

海外市場のドル円は植田日銀総裁の記者会見では「経済・物価の見通し実現すれば金利を引き上げる」、25年度の物価見通しを巡っては「上振れリスクの方が大きい」との等との発言に円買いが優勢となり、151円台後半まで下落。その後は円買い一巡り、米金利の上昇を背景に徐々に戻し、152円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米第3四半期雇用コスト指数は予想を下回るも、同時に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った事や、米9月個人消費が予想以上の伸びを見せた事を受け、153円台前半まで買われる。しかし、その後は米金利の低下が重しとなり、151円台後半まで反落。その後終盤にかけて小幅に反発し152円台前半でクローズ。

【金利】

米債利回りは低下。昨日発表された米経済指標の結果を受けて金利が上昇して反応する局面もあったものの一時的な動きに留まった。米10年債利回りは前日比▲1.6bpの4.284%でクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日の植田日銀総裁の発言を受け12月日銀会合での利上げ観測が高まっており円売りの動きは控えられやすいだろう。ただし、本日海外時間には注目の米10月雇用統計の発表を控えていることで様子見ムードが強まりやすくアジア時間においては値幅の出づかい展開となりそう。

【本日の予定】

(日本) 10月 製造業PMI(確)
(アジア) 10月 インドネシア CPI
(アジア) 10月 中国 Caixin製造業PMI
(アジア) 3Q PPI
(米国) 10月 ISM製造業景況指数
(米国) 10月 ワース自動車販売台数合計
(米国) 10月 失業率 予想:4.1% 前回:4.1%
(米国) 10月 平均時給 予想:0.3% 前回:0.4%
(米国) 10月 製造業PMI(確)
(米国) 10月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 9月 建設支出

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。